

ラウンジ計画

- ・住民健診や期日前投票時の庁舎・保健センター・会議室機能の重ね使いを想定し、ラウンジは建物中心に配置します。
- ・ラウンジにはバスの待合所、キッズスペース、情報コーナー、交流スペースを設けます。
ゾーニングにはワークショップにて抽出した村民の意見も参考にすることで、村民の多様な活動を想定します。
- ・吹抜や階段により一体的な空間とし、庁舎や保健センター、議会など施設全体をつなぎます。
- ・閉庁時や夜間でも利用ができるように、庁舎棟から独立した出入口を設けます。
- ・中会議室程度のスペースに区切って使えるカーテン（間仕切り）や流し台がついたカウンターを設け、様々な使われ方に対応できる設えとします。

情報スペース - 常設型 -

庁舎、保健センター、会議室等の壁沿いに情報コーナーを設けます。



ガラス張りの小会議室

ガラス張りとする事でラウンジから活動を感じられる会議室とします。

カウンター

将来のチャレンジショップやカフェ利用を想定し、流し台付きのカウンターを設置します。

情報スペース - 可動型 -

イベント時には広場でも利用できるホワイトボード型・可動型の掲示板を設置します。電源や照明を組み込むことで、災害時には防災拠点として機能転換ができるような什器を計画します。



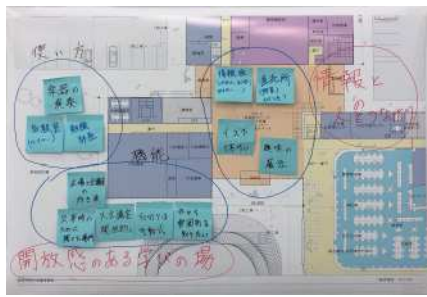
引用元（中央）_<https://www.kamisu-arena.com/>
（右図）_<https://www.uchida.co.jp/education/catalog/efacility26/#target>

バス待合

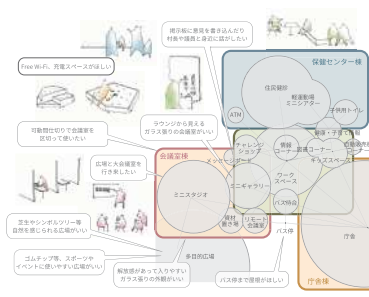
デジタルサイネージを生かし、到着まで室内でバスを待てるスペースを設けます。



ワークショップの風景

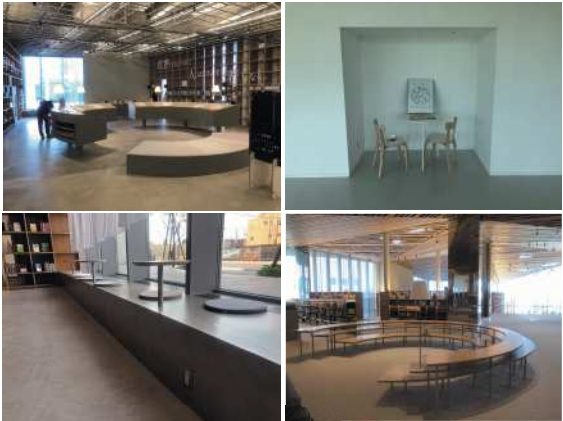


ワークショップで出された意見とその抽出イメージ



休憩スペース

円形のベンチや縁側や軒下のような場所等、多種多様な居場所を計画します。
乳幼児健診や住民健診にまち列をつくる際の休憩場所としても有効に利用できます。



キッズスペース

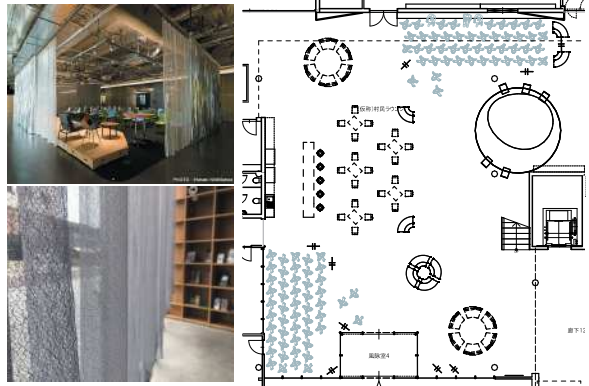
キッズスペースの間仕切りは外側は一般用本棚、内側は子供用本棚、上部はクッションを敷きベンチとして利用できます。

引用元 _<https://www.uchida.co.jp/education/catalog/efacility26/#target>



交流スペース

ラウンジを柔らかく仕切るカーテンを設け、中会議室程度の大きさをつくる、展示に利用する等、多様な活動ができる交流スペースを計画します。
住民健診や期日前投票時にはまち列を整理する場へ、機能の転換ができます。（右図）



引用元（上図）_https://www.japandesign.ne.jp/kiriyama/185_yoko_ando/

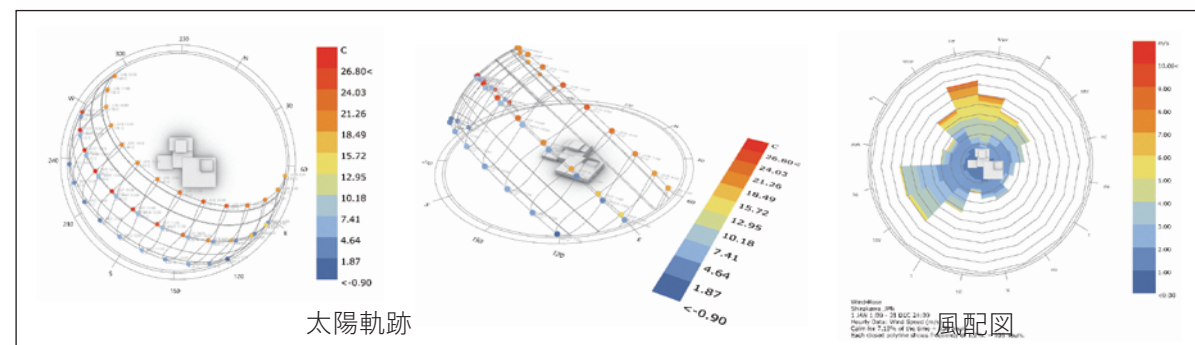
※写真はイメージです。

環境配慮計画

西郷の気候風土を活かした環境設計



- ・年間約 1780 時間の豊富な日照時間を活かし、太陽光発電や自然採光を積極的に活用します。
- ・心地よい豊かな風を建物内に引きこむことで、居住感の向上とランニングコストの削減を目指します。
- ・豊富な森林資源、豊かな自然環境と調和する、木のぬくもりを感じるインテリアとします。



大樹のように支えはぐくむ構造・設備計画

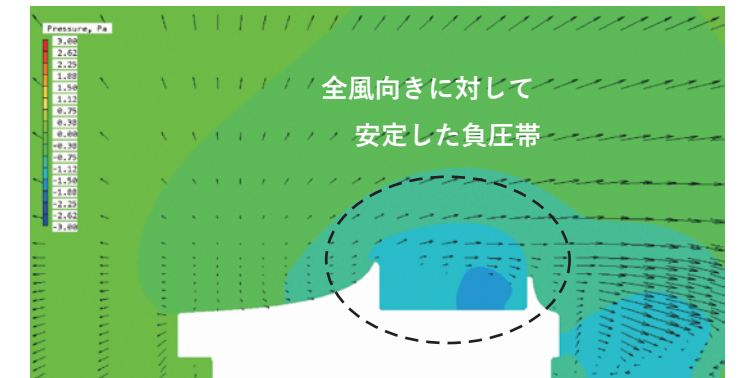
- ・ 書庫の周りの耐震壁を大樹に見立てて、機械室を書庫上部へ集約します。大樹の幹を栄養が通るように空調空気を各執務室へ供給します。
- ・ 機械室を屋根に集約して計画します。
- ・ 耐震の核となる書庫の壁にそって空調空気を供給します。

自然採光の積極採用

- ・人の目に優しい明るさ感をシミュレーション技術により再現し自然採光や昼光利用照明計画を最適化します。
- ・開口部は直射光が目に入らないようにすることでグレアを抑え、執務室全体の明るさ感を高めます。
- ・照明はタスクアンビエント照明を採用し、常時点灯の照明エネルギーを 50%以上削減します。

屋根形状を活かした自然通風

- ・北西からの卓越風を利用することで中間期における自然通風を行います。
- ・夜間換気にとるナイトパージを行うことで、夏期における空調の立ち上がり負荷を削減します。
- ・屋根トップの室外機置場部分はその風向に対しても常に負圧になるため安定した自然換気が可能です。



CFD 解析のイメージ

